

磐城時報

日六廿夕 日刊 磐城時報 印刷所 加納活版所 發行所 磐城時報社 一部金貳圓一月金貳拾圓 廣告料行字詰金五十錢 訂金月金貳圓 印刷部 印刷部

凶作の田人村長等

匡救事業着工を陳情

稲作は平均三分作で 村税徴収全く不能

天候不順に伴ふ石城郡内の凶作するは是非實現せねばならぬ については石城郡町村長等でもものとして数年来の懸案であつ 對策を講ずる事となり二十二日たが今度大手筋の統制機關であ

常磐炭礦 一部統制

石炭の二部統制案は市價を維持

濱三郡の町村長代表

知事に膝詰談判

凶作對策の恩典が薄い

今回の凶作對策について石城郡なる協議をこげた結果 凶作對策としての應急施設は 本縣において百六十六町村、

福岡に榮轉

赤井林野保護組合幹部 四名平署に引致

平警察署渡部司法主任等は署員 數名と共に二十五日赤井村に 出張何事か調査中であつたが二

四倉組頭會

自動車業協議

四倉方部

本縣自動車協會四倉支部の定期 幹事會は昨二十五日午後六時よ 同警察署會議室に開き自動車

緊縮節約を旨とせよ 町長が吏員に注意

歳入の圓満を欠く平町

平町役場では歳入方面の圓満をは 上京し目下東京市蒲田區で働 計る可く吏員總動員で努力して

藥業總會

石城郡の役員

縣藥業組合總會は二十五日郡山 市公會堂に開かれたが、石城郡 からは代議員山野邊東次郎氏出席

磐陽對多賀

教員對抗競技

鼻の藥「チクノール」

磐陽俱樂部が八月廿中茨城縣 多賀郡小學校教員俱樂部から挑 戰された石城郡下教員との對抗

親が許さぬ男を 慕ふ十七の娘

上京の途中で捕はる

宮城縣本吉郡氣仙沼町乾物商内 十七は昨年想思の男と内縁關 係を結んだが親が許さぬので男

賭協團 三十八名罰金

石城郡石任、貝泊方部三十八名 の大量賭博事件の公判は二十五 日開廷せられた左の如く罰式命 令を以て處分された。

- 罰金百圓 荷路夫村日履鈴木 龜吉(五四) 同四十圓 植田町 本町材木商高原新助(三八) 同三十圓 貝泊村下戸草牛馬商 小松名廣(二六) 同貝泊村戸草 農蛭田七之助(二三) 同石任村 方鉢日雇人竹武信(二八) 同貝 泊村中澤炭焼佐久間末松(三二) 同二十圓 貝泊村耕士木炭 商御所脇虎吉(四九) 同貝泊村 戸草國有林笠原木燒原嘉平 (五六) 同石任村山炭燒石井 倉吉(五八) 科料十五圓 貝泊村 戸草農蛭田(二四) 同貝泊村 下戸草農蛭田(二四) 同蛭田 務(四一) 同宿家の前牛馬商鈴木 德太郎(四二) 同農鈴木方次 郎(三五) 同農平同佐藤安富( 三四) 石任村方鉢同大澤六太 郎(三五) 同貝屋同吉田長次郎 (四五) 貝泊村中戸草蛭田喜一 郎(三六) 同炭燒鈴木保四郎( 二二) 同炭平同佐藤福義(三三) 同佐藤由郎(四〇) 同佐藤 八百松(三一) 同佐藤福之助( 三三) 同佐藤利喜之助(三二) 同佐藤重一郎(四一) 石任村神 山同鈴木清(三四) 同石任同小 澤芳男(二二) 同貝屋炭燒佐藤 金次郎(二六) 同神山佐藤三郎 (二二) 同石任農小澤源之助( 四六) 科料十圓 貝泊村中澤 無職佐久間みつお(二二) 同農 平農佐藤豊之助(四〇) 同中澤 同蛭田千代松(二五) 入遠野村 入遠野宮澤渡邊重三郎方木挽 庄司勇(四一) 石任村神山農佐 藤彌一(四〇) 山田村下山田崎 澤雜貨商大津長雄(三一) 入遠 野村大平御齋所飲食店横山松 次(三八) 同美古荷馬車挽新妻 忠藏(四六)

